

## 教職員の皆様へ

本年4月25日付けで熊本県教育長に就任しました田崎です。本県教育行政の重責を担うこととなり、身の引き締まる思いがしています。微力ではありますが精一杯頑張っただけですので、どうぞ宜しくお願い致します。



田崎龍一熊本県教育長

教職員の皆様には、日ごろから子どもたちの教育にご尽力いただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

早いもので就任して3ヶ月が経過しましたが、できるだけ学校現場の状況を知りたいとの思いから、私は、機会を見つけて小中学校を含めて県下の学校訪問をさせていただいています。子どもたちの元気の良い挨拶やキラキラと目を輝かせて授業を受けている姿に接すると、こちらも元気をもらえる気がします。

子どもたちが、それぞれに夢と希望、そして意欲を持って学び、生き生きとした学校生活を送れるような環境づくりに努めることが、私に与えられた使命であると思っています。

子どもたちに確かな学力と豊かな人間性そして健康や体力といった知・徳・体のバランスの取れた、いわゆる「生きる力」を育むことが重要です。そのためには、学校・家庭・地域の教育力を高めるとともに、相互の連携・協力が不可欠です。

このため、私は、教育長就任にあたり、学校現場で直接子どもたちと接する「教職員の人材育成」と家庭や地域と連携するための前提となる「地域に開かれた学校づくり」にスピード感をもって取り組んでいくことを目標としました。これらのことは、何も目新しいことではありませんが、本県教育の発展の基礎となるべきものと考えております。私は、任期の4年間これらのことにしっかりと取り組んでまいりたい所存です。

「教師は志をいかに育てるか、人の心に火をつけることが教師の仕事だ」と幕末に多くの有為な人材を育てた吉田松陰は言っています。教師は、その生き方が子どもたちに影響を与え、その人生を左右するという意味では、大変責任の重い仕事です。しかし、一方、教師が一生懸命教えれば、それが教え子の成功につながり、教え子も教師も満足できるということでは、楽しい仕事でもあると思います。教職員としての矜持、プライドを持って、日々の教科指導や生徒指導等に頑張られることを心から期待します。

私も、教職員の皆様と一緒に、子どもたちが「くまもとに生まれてよかった、くまもとで教育を受けてよかった」と思える学校づくりに取り組んで参ることをお誓いして、就任のご挨拶とさせていただきます。

平成24年7月20日  
熊本県教育長 田崎 龍一